

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-215836
(P2002-215836A)

(43) 公開日 平成14年8月2日 (2002.8.2)

(51) Int.Cl.
G 06 F 17/60

識別記号
146

F I
C 06 F 17/60

マーク〇 (参考)
146Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 OL (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2001-11325(P2001-11325)

(22) 出願日 平成13年1月19日 (2001.1.19)

(71) 出願人 591003954

株式会社セガ・エイエムツー
東京都大田区東糀谷2丁目12番14号

(72) 発明者 古川 駿司

東京都渋谷区渋谷 1-21-1 ネクスト
コムビル 株式会社シー・エス・ケイ総合
研究所内

(72) 発明者 鈴木 泰山

東京都渋谷区渋谷 1-21-1 ネクスト
コムビル 株式会社シー・エス・ケイ総合
研究所内

(74) 代理人 100080001

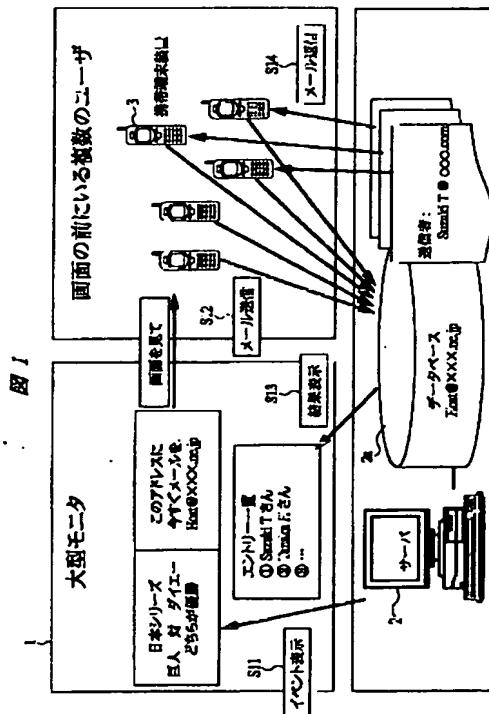
弁理士 简井 大和 (外1名)

(54) 【発明の名称】 イベントエントリー方法およびシステム

(57) 【要約】

【課題】 多数の人が集まるような場所において、イベント主催者側が不特定多数のイベント参加者のメールアドレスを瞬時に集めてユーザとの双方向のネットワークを確立できるイベントエントリー方法およびシステムを提供する。

【解決手段】 イベントエントリー方法を実現するためのシステムであって、大型モニタ1と、イベント主催者のサーバ2と、ユーザの携帯端末装置3などから構成され、イベント主催者は、サーバ2を通じて、イベントの内容と、このイベントにエントリーする際のメールアドレスとを大型モニタ1に表示し、ユーザがイベントにエントリーするときには携帯端末装置3を通じてメールアドレスにメールを送信し、イベント主催者は、送信されたメールのユーザアドレスをサーバ2のデータベース2aに格納し、サーバ2を通じて、メールによるエントリー結果を大型モニタ1に表示し、必要に応じてユーザにメールとして返信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 表示装置とイベント主催者のサーバとユーザの携帯端末装置とを有し、

前記イベント主催者は、前記サーバを通じてイベントの内容と、このイベントにエントリーする際のメールアドレスとを前記表示装置に表示し、

前記ユーザが前記イベントにエントリーするときには、前記携帯端末装置を通じて前記メールアドレスにメールを送信し、

前記イベント主催者は、前記送信されたメールのユーザアドレスを前記サーバのデータベースに格納し、

前記イベント主催者は、前記サーバを通じて前記メールによるエントリー結果を前記表示装置に表示することを特徴とするイベントエントリー方法。

【請求項2】 請求項1記載のイベントエントリー方法において、

前記イベント主催者は、前記サーバを通じて前記メールによるエントリー結果を前記ユーザにメールとして返信することを特徴とするイベントエントリー方法。

【請求項3】 表示装置とイベント主催者のサーバとユーザの携帯端末装置とを有し、

前記表示装置は、前記イベント主催者のイベントの内容と、このイベントにエントリーする際のメールアドレスとを表示する手段と、前記イベントにエントリーするときに送信されたメールによるエントリー結果を表示する手段とを有し、

前記イベント主催者のサーバは、前記送信されたメールのユーザアドレスを格納するデータベースを有し、

前記ユーザの携帯端末装置は、前記イベントにエントリーするときに前記メールアドレスにメールを送信する手段を有することを特徴とするイベントエントリーシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、イベントエントリー技術に関し、特にイベント主催者側が不特定多数のイベント参加者のメールアドレスを瞬時に集めて、イベント主催者とユーザとの双方向のネットワークを確立することができるイベントエントリー方法およびシステムに適用して有効な技術に関する。

【0002】

【従来の技術】 本発明者が検討した技術として、イベントエントリー技術については、以下のような技術が考えられる。たとえば、テレビにおける大規模電話投票システムとして、生放送のテレビ番組で、最大6つの選択肢を視聴者が選び電話で投票する方法がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、前記のようなイベントエントリー技術について、本発明者が検討した結果、以下のようなことが明らかとなった。たとえ

ば、前記のようなテレビにおける大規模電話投票システムでは、選択肢を選んで投票するだけの参加に限られている。このように、参加者からの片方向のネットワークに限られている場合は、多人数のエントリーに対してたった一度のアクセスだけで結果を出さなければならぬ。そのため、たとえばクイズで4択の中から回答するような場合、クイズの正解者を1人に絞り込むことができない。

【0004】 そこで、本発明者は、多数の人が集まるようなイベントに着目し、このように多数の人が集まる場所で、イベント主催者側が不特定多数のメールアドレスを瞬時に集めて双方向のネットワークを確立することができるることを考えついた。これにより、たとえば前記のようにクイズで4択の中から回答するような場合、双方向性を活かして最後の1人まで絞り込むことが可能となる。

【0005】 そこで、本発明の第1の目的は、多数の人が集まるような場所において、イベント主催者側が不特定多数のイベント参加者のメールアドレスを瞬時に集めて、イベント主催者とユーザとの双方向のネットワークを確立することができるイベントエントリー方法およびシステムを提供することにある。

【0006】 また、たとえばゲームセンターなどの複数対戦のゲームなどの場合は、2人対戦用ゲーム機の場合は2つの入力装置、4人対戦用ゲーム機の場合は4つの入力装置がそれぞれ必要となるように、事前に想定した人数分だけの入力装置をイベント主催者側で用意する必要がある。

【0007】 そこで、本発明の第2の目的は、イベントエントリーのための入力装置として、今日、大勢の人に普及している携帯電話などを想定することで、イベント主催者側が入力装置を用意することなく、ユーザによるイベントへのエントリーを容易に実現することができるイベントエントリー技術を提供することにある。

【0008】 また、前記のようなテレビにおける大規模電話投票システムなどの場合には、電話での参加のために、参加者を特定することが困難である。これにより、同じ人が何回もエントリーできてしまうという問題点が生じる。

【0009】 そこで、本発明の第3の目的は、携帯電話などを使って電子メール(以下、単にメールと言う)を送信する場合に必ず送信される送信者のメールアドレスを認識し、同じアドレスからのエントリーを排除することで、多重エントリーを避けることができるイベントエントリー技術を提供することにある。

【0010】 さらに、前記のようなテレビにおける大規模電話投票システムなどの場合には、電話での参加のために、選択肢により電話番号が違う。これにより、選択肢分の電話番号を用意する必要がある。

【0011】 そこで、本発明の第4の目的は、携帯電話

などのメール機能を使い、メールの本文や件名などとして入力されたユーザのコメントで回答内容を振り分けることにより、イベントへのエントリーの送信先アドレスを1ヶ所にすることができるイベントエントリー技術を提供することにある。

【0012】

【課題を解決するための手段】本発明は、前記目的を達成するために、イベント主催者が主催するイベントにおいて、主催者側が不特定多数のイベント参加者のメールアドレスを瞬時に集めて、イベント主催者とユーザとの双方向のネットワークを確立することができ、さらにイベント主催者側による入力装置の用意不要、多重エントリーの回避、送信先アドレスの1ヶ所への限定が可能なイベントエントリー技術を実現するものである。

【0013】すなわち、本発明のイベントエントリー方法は、表示装置とイベント主催者のサーバとユーザの携帯端末装置とを有し、イベント主催者はサーバを通じてイベントの内容と、このイベントにエントリーする際のメールアドレスとを表示装置に表示し、ユーザがイベントにエントリーするときには、携帯端末装置を通じてメールアドレスにメールを送信し、イベント主催者は送信されたメールのユーザアドレスをサーバのデータベースに格納し、イベント主催者はサーバを通じてメールによるエントリー結果を表示装置に表示することを特徴とするものである。

【0014】さらに、前記イベントエントリー方法において、イベント主催者は、サーバを通じてメールによるエントリー結果をユーザにメールとして返信するようにしたものである。

【0015】また、本発明のイベントエントリーシステムは、表示装置とイベント主催者のサーバとユーザの携帯端末装置とを有し、表示装置が、イベント主催者のイベントの内容と、このイベントにエントリーする際のメールアドレスとを表示する手段と、イベントにエントリーするときに送信されたメールによるエントリー結果を表示する手段とを有し、イベント主催者のサーバが、送信されたメールのユーザアドレスを格納するデータベースを有し、ユーザの携帯端末装置が、イベントにエントリーするときにメールアドレスにメールを送信する手段を有することを特徴とするものである。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。図1は本発明の一実施の形態のイベントエントリー方法を実現するためのシステムおよびイベントエントリー方法を示す概略構成図、図2は択一方式によるクイズへのエントリー方法を示す説明図である。

【0017】まず、図1により、本実施の形態のイベントエントリー方法を実現するためのシステムの一例の構成を説明する。本実施の形態のシステムは、たとえば表

示装置としての大型モニタ1と、イベント主催者のサーバ2と、ユーザの携帯端末装置3などから構成され、サーバ2と端末装置3はネットワーク上に構築されており、また大型モニタ1にはサーバ2のデータベースの内容やイベントそのものが表示可能となっている。

【0018】大型モニタ1は、たとえば街中などの多数の人が集まる場所などに設けられ、イベント主催者のイベントの内容と、このイベントにエントリーする際のメールアドレスとを表示する手段と、イベントにエントリーするときに送信されたメールによるエントリー結果を表示する手段とを有し、イベント主催者が主催するイベントの内容が大勢の人に提供され、不特定多数の人にイベントへの参加を促すことができる。

【0019】イベント主催者のサーバ2は、たとえばスポーツ、音楽、ゲームなどの各種のイベントを主催した際のメールを管理するコンピュータなどからなるサーバであり、イベントにエントリーするときに送信されたメールのユーザアドレスを格納するデータベース2aを有し、不特定多数の参加者のメールアドレスを瞬時に格納できるようになっている。

【0020】ユーザの携帯端末装置3は、たとえば携帯電話、PDAなどからなり、イベントにエントリーするときにメールアドレスにメールを送信する手段を有し、ユーザはメールを使うことによって、恥ずかしがることなく簡単にイベントに参加することが可能となっている。

【0021】次に、本実施の形態の作用について、図1を参照しながら、イベントエントリー方法の一例を説明する。

【0022】まず、イベント主催者は、サーバ2を通じて、イベントの内容と、このイベントにエントリーする際のメールアドレスとを大型モニタ1に表示する(ステップS11)。たとえば、イベントの内容を「日本シリーズ 巨人対ダイエー どちらが優勝として、メールアドレスを「Host@××.ne.jp」とする。

【0023】続いて、ユーザは、大型モニタ1の表示を見て、イベントにエントリーするときには、自分の携帯端末装置3を通じて、メールアドレスにメールを送信する(ステップS12)。この送信されたメールのユーザアドレスは、イベント主催者のサーバ2のデータベース2aに格納される。たとえば、イベントにエントリーした「鈴木太郎」の「SuzukiT@○○○.com」などが格納される。

【0024】さらに、イベント主催者は、サーバ2を通じて、メールによるエントリー結果を大型モニタ1に表示する(ステップS13)。たとえば、イベントにエントリーした「SuzukiTさん」、「TanakaHさん」などの名前を一覧にして表示することができる。必要に応じて、エントリー結果をユーザにメールとして返信することもできる(ステップS14)。

【0025】次に、図2により、イベントの他の例として、択一方式によるクイズへのエントリー方法の一例を説明する。ここでは、クイズで4択の中から回答して、最後に1人に絞り込む例を示す。

【0026】まず、イベント主催者は、サーバ2を通じて、4択による第1問のクイズと、このクイズに回答する際のメールアドレスとを大型モニタ1に表示する（ステップS21）。

【0027】続いて、ユーザは、大型モニタ1の表示を見て、第1問のクイズに回答するときには、自分の携帯端末装置3を通じて、メールの本文や件名などにクイズの回答を入力してメールアドレスにメールを送信する（ステップS22）。

【0028】さらに、イベント主催者は、サーバ2を通じて、第1問のクイズの正解者だけに、次の第2問のクイズへの参加許可をメールとして返信する（ステップS23）。この第2問のクイズに回答する際のメールアドレスは、参加許可のメールの返信アドレスであり、正解者しか知り得ないので認証も可能となる。

【0029】この際に、大型モニタ1には、第1問のクイズの正解と、回答した正解者を大型モニタ1に表示する（ステップS24）。このとき、第1問のクイズに正解していない人は、第2問のクイズは見るだけで参加はできない。

【0030】続いて、第1問に正解したユーザは、大型モニタ1の表示を見て、第2問のクイズの回答をメールの本文や件名などに入力して、自分の携帯端末装置3を通じて、第2問のクイズへの参加許可の返信アドレスへメールを送信する（ステップS25）。

【0031】さらに、第1問と同様に、イベント主催者は、サーバ2を通じて、第2問のクイズの正解者だけに、次の第3問のクイズへの参加許可をメールとして返信する（ステップS26）。

【0032】以降同様に、第3問目からは、前のクイズの正解者だけに、次のクイズへの参加許可をメールとして返信する処理を繰り返すことにより、最後に正解者を1人まで絞り込む（ステップS27）。この1人に対して賞品などを提供することができる。

【0033】以上のように、第1問のクイズに回答する際のメールアドレスは大型モニタ1に表示するが、第2問目以降のクイズに回答する際のメールアドレスは次のクイズの出題メールの返信アドレスとして、1対多のネットワークを実現することができる。

【0034】従って、本実施の形態によれば、多数の人々が集まる場所などにおいて、ユーザは携帯端末装置3によるメールを使うことによって大型モニタ1に表示されたイベントへのエントリーのハードルを下げ、イベント主催者は不特定多数のメールアドレスをサーバ2のデータベース2aに瞬時に集めてユーザとの双方向のネットワークを確立することができる。よって、効率的に1対

多のコミュニケーションを図ることができ、また不特定多数のユーザはその場限りで時間を共有することができる。

【0035】さらに、イベントへのエントリーは、大勢の人に普及している携帯電話などの携帯端末装置3で可能なので、入力装置などをイベント主催者側で準備する必要もない。

【0036】また、携帯電話などの携帯端末装置3を使ってメールを送信する場合、送信者のメールアドレスも必ず送信されるので、同じアドレスからのエントリーを排除することができる。よって、参加者を特定できるので、多重エントリーを避けることができる。

【0037】さらに、携帯電話などの携帯端末装置3のメール機能を使い、メールの本文や件名などにユーザがコメントを入力できるので、送信先のアドレスは1つでも、メールのコメントで回答内容を振り分けることができる。よって、送信先アドレスを1ヶ所にすることができる。もちろん、回答の選択肢毎に送信先を2ヶ所以上にすることも可能である。この回答内容の振り分けにおいては、サーバ2のプログラムにより、類似、あるいは同一語と判断されるような文字列などは広い範囲で解釈して検索可能とする。

【0038】また、イベント主催者が集めた不特定多数のメールアドレスは、本人の了承を得て活用することができる。この際に、メールアドレスを含む個人情報を2次利用する場合、プライバシーを配慮しなければならないが、イベント内容を的確に絞り込むことで、効率の良いマーケティングを実現できる。たとえば、歌手のコンサート会場で行えば、来場者は確実にこの歌手のファンであるので、主催者のショップまでの地図を返信し、来場者への粗品提供などに利用できる。

【0039】本発明は前記実施の形態に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲で種々変更可能であることはいうまでもない。

【0040】たとえば、前記実施の形態においては、大型モニタを街中などの多数の人が集まる場所に設ける例を説明したが、これに限定されるものではなく、スポーツや音楽などのイベント会場などに設けることも可能であり、この場合にも同様に、不特定多数のメールアドレスを瞬時に集めて双方向のネットワークを確立することができる。

【0041】また、表示装置としては、テレビなどを想定することも可能であり、このテレビの生中継において同様に、イベントの内容と、このイベントにエントリーする際のメールアドレスを表示し、このテレビを見たユーザが携帯電話などの携帯端末装置からエントリーし、その結果をテレビに表示するような場合にも適用することができる。

【0042】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のイベント

エントリー方法およびシステムによれば、以下のような効果を得ることができる。

【0043】(1) 多数の人が集まるような場所において、メールを使うことによってユーザーによるイベントエントリーへのハードルを下げ、イベント主催者は不特定多数のメールアドレスを瞬時に集めて、イベント主催者とユーザーとの双方のネットワークを確立することができるので、効率的に1対多のコミュニケーションを図ることが可能となる。

【0044】(2) イベントエントリーのための入力装置として、今日、大勢の人に普及している携帯電話などの携帯端末装置を想定することで、イベント主催者側が入力装置を用意することなく、ユーザーによるイベントへのエントリーを容易に実現することが可能となる。

【0045】(3) 携帯電話などの携帯端末装置を使ってメールを送信する場合に必ず送信される送信者のメールアドレスを認識し、同じアドレスからのエントリーを排除することで、多重エントリーを避けることが可能となる。

【0046】(4) 携帯電話などの携帯端末装置のメー

ル機能を使い、メールの本文や件名などに入力されたユーザーのコメントで回答内容を振り分けることにより、イベントへのエントリーの送信先アドレスを1ヶ所にすることが可能となる。

【0047】(5) イベント主催者は、イベントにより集めた不特定多数のメールアドレスを本人の了承を得て活用することが可能となる。特に、イベント内容を的確に絞り込むことで、効率の良いマーケティングを実現することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

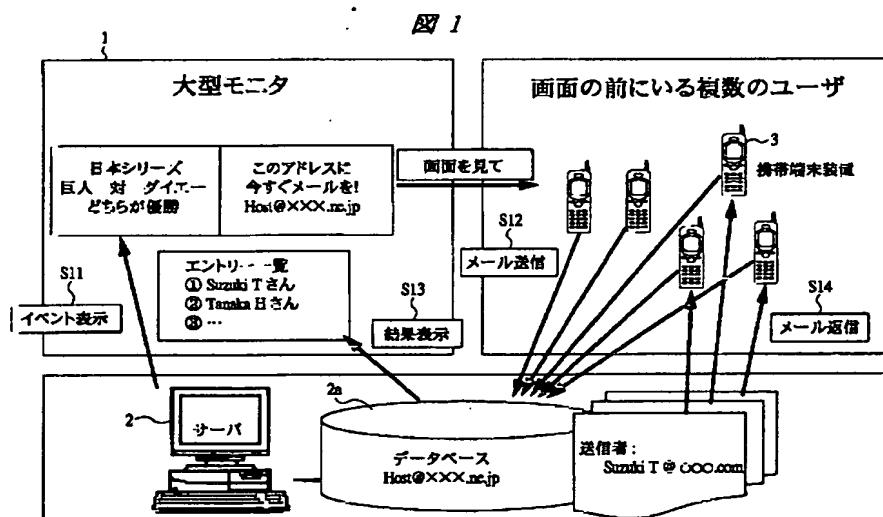
【図1】本発明の一実施の形態のイベントエントリー方法を実現するためのシステムおよびイベントエントリー方法を示す概略構成図である。

【図2】本発明の一実施の形態において、択一方式によるクイズへのエントリー方法を示す説明図である。

【符号の説明】

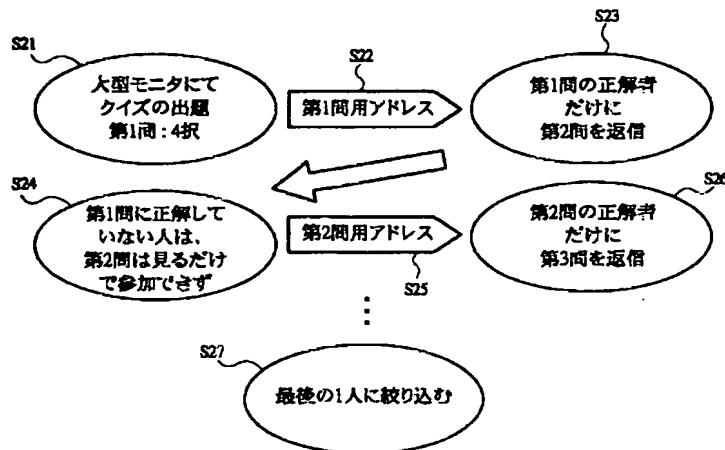
- 1 大型モニタ
- 2 サーバ
- 2a データベース
- 3 携帯端末装置

【図1】



【図2】

図2



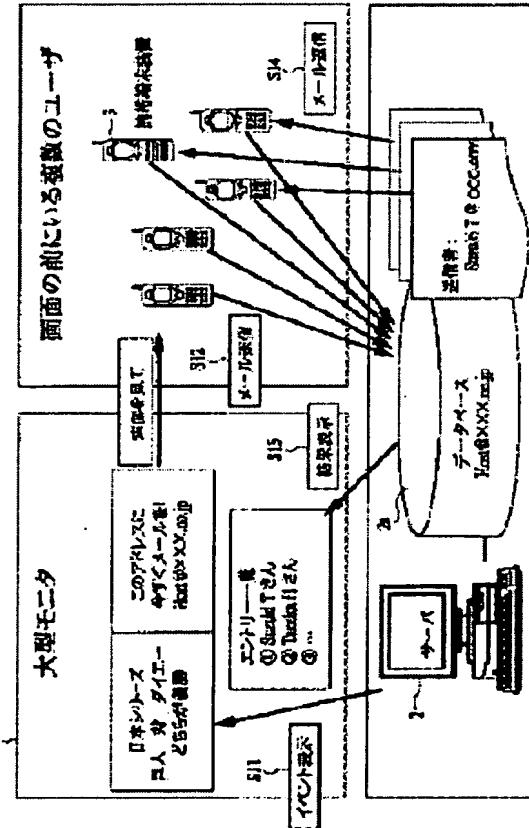
EVENT ENTRY METHOD AND ITS SYSTEM

Publication number: JP2002215836
Publication date: 2002-08-02
Inventor: FURUKAWA KENJI; SUZUKI TAISAN
Applicant: SEGA AM2 CO LTD
Classification:
 - **International:** (IPC1-7): G06F17/60
 - **European:**
Application number: JP20010011325 20010119
Priority number(s): JP20010011325 20010119

[Report a data error here](#)

Abstract of JP2002215836

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an event entry method and its system that an organizer of the event can quickly collect mail addresses of unspecified number of entrants for the event and can establish a two-way network with users. **SOLUTION:** This is a system for realizing the event entry method. It is composed of a large size monitor 1, a server of the organizer of the event 2, and user's portable terminal device 3, etc. The organizer of the event displays the contents of the event and mail address for entry to this event on the large size monitor 1 through the server 2. When the user enters the event, he or she sends a mail to the mail address through the portable terminal device 3. The organizer of the event stores the user address of the sent mail in a database 2a of the server 2, displays the result of the entry by mail on the large size monitor 1 through the server 2, and sends it back as a mail to the user if necessary.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide